

令和5年11月22日

まちづくり委員会資料

京浜急行大師線連続立体交差事業
1期①区間の取組状況について

建設緑政局

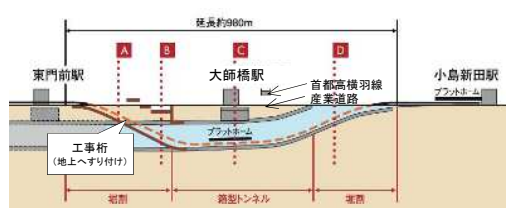
京浜急行大師線連続立体交差事業 1期①区間の取組状況について

1 京浜急行大師線連続立体交差事業 事業概要

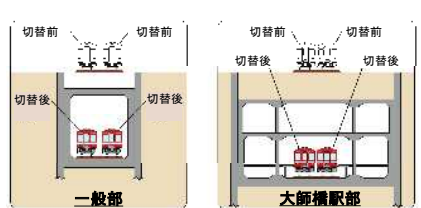
(1) 全体平面図



(2) 縦断面図 (1期①区間)



(3) 横断面図 (1期①区間)



(4) 踏切状況

区間名	踏切道名称	道路名	幅員	踏切遮断時間		交通量				踏切交通遮断量		踏切種別		法指定
				1日当たり		自動車	二輪車	自転車	歩行者	自動車	歩行者等	自動車 BN	歩行者 BN	
				分	時間									
2期区間	① 京急川崎(大)第1	本町8号線	11.0 m	15	2.9	808	118	867	1,687	2,343	7,407			○
	② 京急川崎(大)第2	国道409号	20.0 m	15	3.2	29,909	1,894	4,052	1,791	95,709	18,698	○		○
	③ 港町第1	港町1号線	7.0 m	14	3.0	1,023	90	1,100	4,098	3,069	15,594			○
	④ 港町第3	(私道)	11.0 m	23	3.9	185	12	0	4,527	722	17,655			○
1期②区間	⑤ 鈴木町第1	鈴木町1号線	14.0 m	23	4.1	9,382	398	1,581	318	38,466	7,786	*		○
	⑥ 川崎大師第1	国道409号	25.0 m	21	4.1	10,110	460	1,175	4,391	41,451	22,821	*	○	○
	⑦ 川崎大師第2	大師本町3号線	6.0 m	26	4.8	1,319	87	1,074	576	6,331	7,920			○
	⑧ 川崎大師第3	大師本町5号線	6.0 m	28	5.3	0	10	170	238	0	2,162			○
	⑨ 川崎大師第4	東門前1号線	6.0 m	31	5.5	546	47	2,569	1,329	3,003	21,439			○
	⑩ 東門前第1	東門前6号線	8.0 m	31	5.7	2,258	238	2,575	8,224	12,871	61,554		○	○
1期①区間	⑪ 東門前第2	東門前8号線	5.5 m	18	3.1	0	16	821	2,406	0	10,004			○
	⑫ 東門前第3	東門前11号線	4.5 m	16	2.8	112	12	672	571	314	3,480			○
	⑬ 産業道路第1	東京大師横浜	40.0 m	23	4.1	25,144	1,354	2,719	4,758	103,900	30,656	○	○	○
	⑭ 産業道路第2	田町2号線	8.0 m	24	3.9	3,446	357	1,931	586	13,439	9,816			○
	⑮ 大師橋第4	田町9号線	8.1 m	29	5.5	2,334	195	1,915	1,285	12,837	17,600			○

(注1) 自動車ボトルネック(BN)踏切：一日の踏切自動車交通遮断量が5万台/日以上の場合
 (注2) 歩行者ボトルネック(BN)踏切：一日の踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和が5万台(人)時/日以上かつ一日の踏切歩行者等交通遮断量が2万台(人)時/日以上の場合
 (注3) ⑪～⑬踏切 各数値は地下運行開始前の平成31年1月調査

(5) 事業の主な経緯

平成5年6月 都市計画決定 (小島新田駅～京急川崎駅)

平成6年3月 都市計画事業認可 施行期間：平成5年度～平成14年度

平成9年6月 施行協定締結 (1期区間：小島新田駅～川崎大師駅手前)

平成15年3月 都市計画事業認可変更 施行期間：平成5年度～平成27年度 (13年間延伸)

平成15年3月 施行協定変更 (1期①区間 (小島新田駅～東門前駅) の設定、工期の延伸)

1期①区間 事業費：約337億円 工期：平成17年度～平成22年度

平成18年2月 1期①区間 工事着手

平成23年3月 施行協定変更 1期①区間 事業費：約462億円 (約125億円増)

工期：平成17年度～平成26年度 (4年間延伸)

平成26年4月 施行協定変更 工期：平成17年度～平成27年度 (1年間延伸)

平成28年3月 都市計画事業認可変更 施行期間：平成5年度～令和6年度 (9年間延伸)

平成28年3月 施行協定変更 工期：平成17年度～平成31年度 (4年間延伸)

平成29年4月 施行協定変更 1期①区間 事業費：約642億円 (約180億円増)

平成29年10月 事業再評価委員会 1期区間事業継続、2期区間中止

平成31年3月 1期①区間 地下運行開始 (産業道路第1踏切他の除却)

令和2年3月 施行協定変更 工期：平成17年度～令和3年度 (2年間延伸)

令和3年3月 施行協定変更 1期①区間 事業費：約701億円 (約59億円増)

工期：平成17年度～令和5年度 (2年間延伸)

令和4年11月 事業再評価委員会 1期区間事業継続、1期②区間工事は検討継続

※川崎大師駅に隣接する「⑤鈴木町第1踏切」と「⑥川崎大師第1踏切」は共に一方通行路であり、踏切自動車交通遮断量の和が自動車ボトルネック踏切の基準に相当

京浜急行大師線連続立体交差事業 1期①区間の取組状況について

2 大師橋駅新駅舎の開業

臨海部における交通拠点機能を有する**大師橋駅**について、**令和5年12月23日**※に**新駅舎を開業する**。(※鉄道施設の検査等により変更の可能性あり)

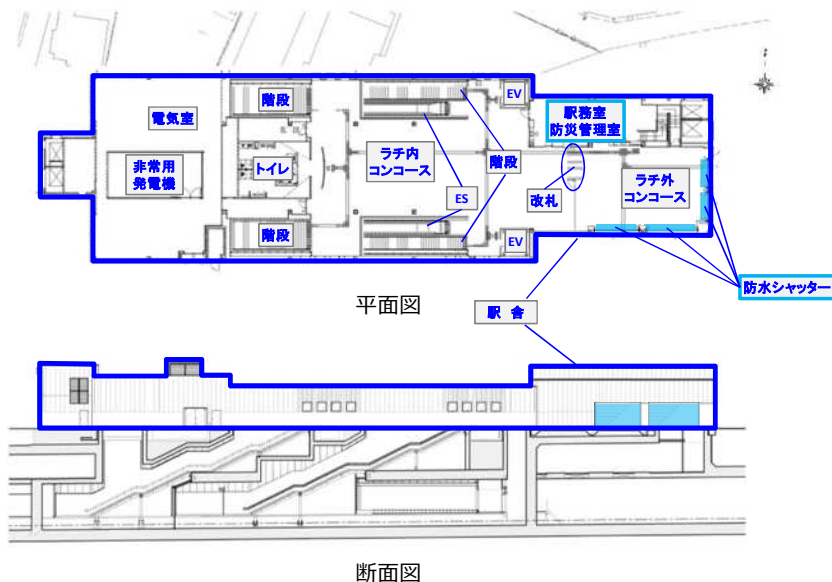
- 施設概要：駅舎（鉄骨造2階建て）
改札口 1か所 4通路
エレベーター(EV) 上下線各1台、エスカレーター(ES) 上下線各1台
男女旅客用トイレ 各1か所、多機能トイレ 各1か所
- 駅が位置する旧大師河原村が長十郎梨の発祥の地であることから、梨の花を連想できる「白」を基調とし、機能に合わせて壁面の高さを変えることで、**圧迫感を抑えた設えを実現**
- 防水シャッターや防災管理室を設置するなど、**災害に強い鉄道施設を整備**



工事実施状況（令和5年11月時点）



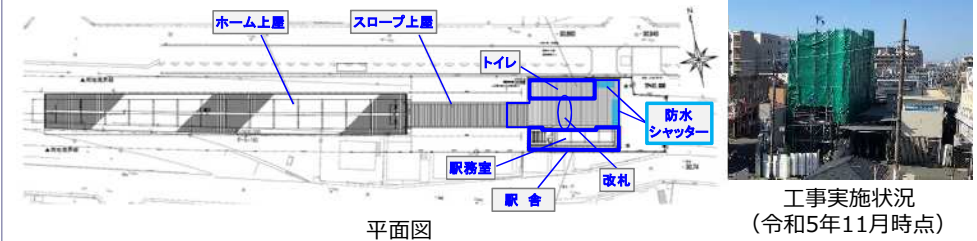
駅舎完成イメージ



3 小島新田駅新駅舎の開業

キングスカイフロントの玄関口である**小島新田駅**について、**令和6年1月下旬（予定）**に**新駅舎を開業する**。

- 施設概要：駅舎（鉄骨造3階建て）
改札口 1か所 5通路
男女旅客用トイレ 各1か所、多機能トイレ 1か所



4 駅舎開業後の工事

- 大師橋駅については、**令和6年3月末**までに仮駅舎の撤去や外構工事を実施するが、新駅舎に設置する非常用発電機が半導体不足等の影響により納期が長期化しているため、非常用発電機に関する作業ヤードの復旧は**令和6年度**となる見込み。
- 小島新田駅については、建築予定箇所の地中にコンクリート支障物が発見され、支障物を撤去する必要が生じたため、仮駅舎の撤去やトイレ等の整備は**令和6年度**となる見込み。



仮非常用発電機

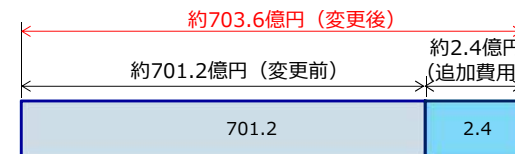


コンクリート支障物

5 施行協定の変更

(1) 事業費

令和5年度以降に施工する工事に必要な建設資材等の価格高騰分の費用として約1.8億円、半導体不足等の影響による非常用発電機の納期長期化に係る費用約0.4億円、支障物の撤去に係る費用約0.2億円、合計約**2.4億円**が追加で必要になるため、**事業費を約701.2億円から約703.6億円に変更**する。なお、追加費用約2.4億円は令和5年度予算内で対応する。



追加費用約2.4億円	
・建設資材等の価格高騰	約1.8億円
・納期長期化に伴う費用	約0.4億円
・支障物の撤去等による費用	約0.2億円

(2) 工期

非常用発電機の納期長期化の影響などにより、工期を**1年間延伸**し、**令和5年度末から令和6年度末に変更**する。